

# 玉川村体育館で開催！ 特別ミネラル栽培の勉強会

毎年恒例となりました『特別ミネラル栽培の会勉強会』が、平成18年11月25日（土）に福島県玉川村村民体育館で開催されました。

# 特別ミネラル栽培の会 会報

平成19年1月  
No. 8



平成18年11月25日（土）に、毎年恒例の「特別ミネラル栽培勉強会」が開催されました。参加人数の増加にもない、今年から玉川村村民体育館（福島県）に会場を変更させていただきましたがいかがでしたでしょうか？

参加者は前回よりかなり増えて約一八〇名。前日の準備段階では、体育館が広すぎて不安だったのですが、実際には予想以上の参加者で、危うく机と椅子が足りなくなる所でした。今回の勉強会は、さまざまな資料を使用した方々に

その感想をお聞きしようというところで、3名の会員による体験発表をしていただきました。

まずは、原田会長（福島県福島市）の「ミネラルを利用したナシ栽培」について。原田会長は、福島市庭坂地区で梨栽培をされており、微生物・ミネラル関連資料については当会で最も長く使用されています。やはり長期間に使用されていることもあり、どのタイミングでの資料投入が最も効果的が熟知されており、私ども事務局の人間にとつてもたいへんためになった発表内容でした。

2番手は、栃木県那須塩原市の阿見さん。発表内容は、「微生物・ニーム・ミネラル等使用の露地野菜栽培」。阿見さんは、ウドンコ・半身委凋等の病気被害が多発。同時に、アブラムシ・スリップス・ネキリムシ等の害虫の被害を受け、

それらの病害虫を食い止めることができずに苦しみ、農薬使用が原因で体調を崩して入院をする事になったそうです。そんな中で特別ミネラル栽培の会の存在を知り、土壌改良と虫予防に取り組みました。土壌改良に使用した資材は、TB 21エース（微生物）と海藻粉末、E B a エコです。苗からの病気予防対策としてE B a エコ、オスマック、農業用天然ミネラル1を苗の段階から散布し、病気に強い苗作りに努めました。虫予防に使用した資材は、New ニームアクトLG（葉面散布）とニーム顆粒（全面散布と植穴に使用）で栽培に取り組みました。

その結果、体調を崩すことなく農業に従事することができ、美味しい野菜は消費者から名指しで購入していただけることとなり、経営的には黒字になったとのこととです。

最後の発表は山口県から参加された藤井さん。「儲かる農業」の成功例を発表していただきました。藤井さん曰く、「儲ける農業で



は、成功しない。人の言うことを信じて取り組む者が儲かるという言葉に示されているように、儲けようとして追いかけるのではなかなか追いつけない。実践のあとからついてくるのが儲かる農業につながる。作物の生理を理解して、適正にミネラルを使いこなすことで消費者に指示していただける作物を栽培することができると思う。」とのことでした。

今回の体験発表は、発表者がそれぞれ違った視点から発表していただいたため、たいへん有意義なものだったような気がします。余談ですが、初参加の方の感想が、「発表が始まると同時に参加者全員がメモをとりはじめたのは驚きだった。他では見たことがない。」だったそうです。